C—59 バストダーツの研究（第1報）
——体形別にみたバストダーツのきめ方——

実践女大家政　平岡和香子

1. バストダーツのきめ方はパターンごとにまちまちであるし，バストの寸法が同一でも胸の大きさは異なるので，パターンごとの固定寸法だけでは充分でないと考える。このため，バストダーツの分量，長さ，位置を体形別に究明した。

2. マルチン氏計測器を使って，女子大生を対象に身体計測を行ない，その結果に基づいて，トップバスト(T・B)とアンダーバスト(U・B)の差を，8cm，13cm，18 cm の3体形とし，他の寸法は同一に特別に注文した人台を使用した。材料は40番綿ブロードを用いた。パターンには現在一般に普及しているもの2種と本学のもの1種と計3種を用い，人台別にダーツの位置の違うもの5種と長さの異なるもの3種の15種類づつを作製し，人台に着用させ，被服構成学担当者5名による比較検討結果から評価をした。

3. バストポイントは，乳間/2線上と，衿ぐり前中心から頂点までの交点を採るのが測り方として最も誤差が少ない。そして，バストダーツの分量は(T・B—U・B)/3が適当であるという結論に達した。なお，脇ダーツについては2cm～6cmが可能である。ダーツの分量が多い

場合も1本でおさまり，2本に分割しても効果は変らない。また，ダーツの長さは分量により異なるが，位置によって変える必要はないということもわかった。